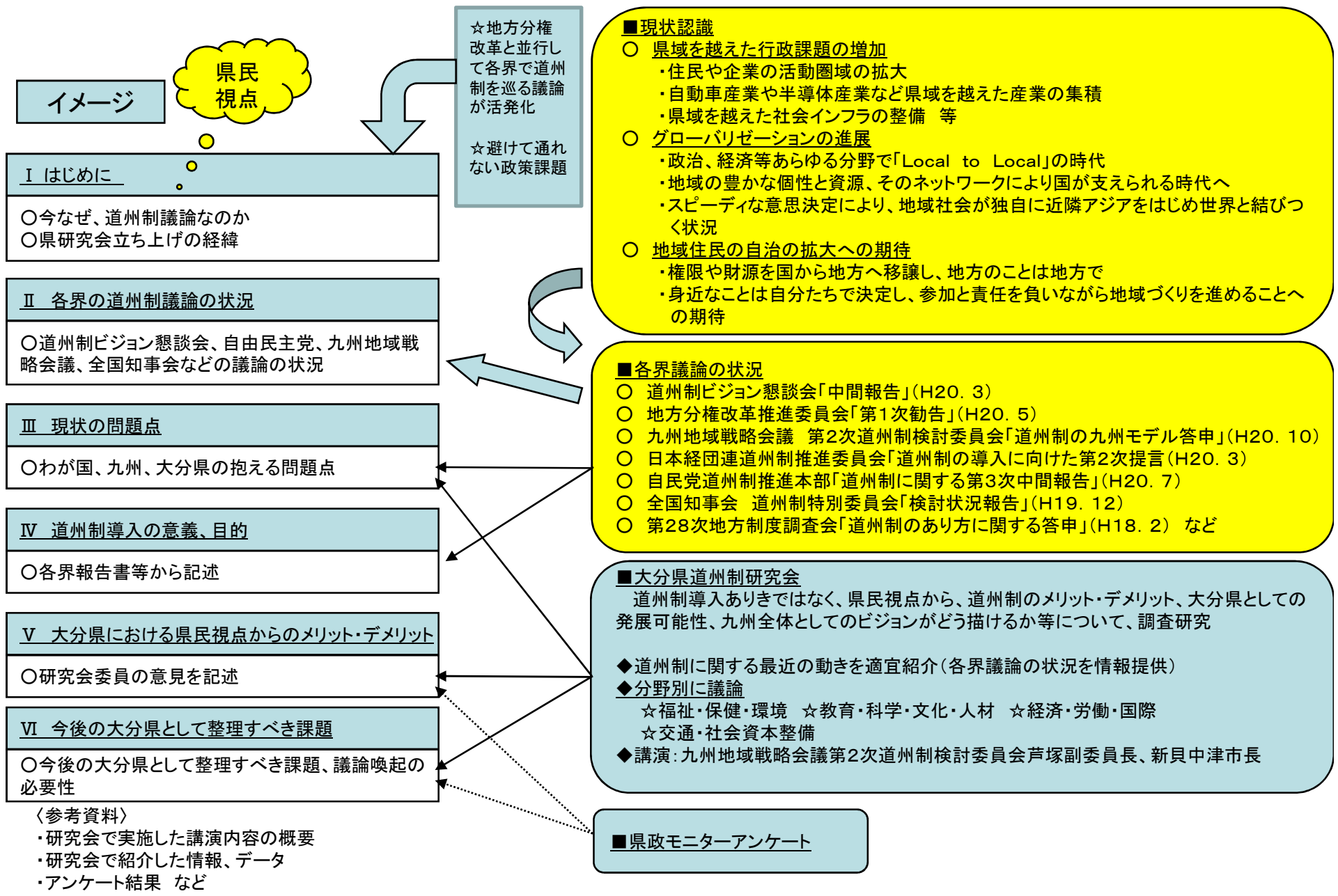


大分県道州制研究会報告書取りまとめイメージ



イメージ

県民視点

☆地方分権改革と並行して各界で道州制を巡る議論が活発化
☆避けて通れない政策課題

I はじめに
○今なぜ、道州制議論なのか
○県研究会立ち上げの経緯

II 各界の道州制議論の状況
○道州制ビジョン懇談会、自由民主党、九州地域戦略会議、全国知事会などの議論の状況

III 現状の問題点
○わが国、九州、大分県の抱える問題点

IV 道州制導入の意義、目的
○各界報告書等から記述

V 大分県における県民視点からのメリット・デメリット
○研究会委員の意見を記述

VI 今後の大分県として整理すべき課題
○今後の大分県として整理すべき課題、議論喚起の必要性

■現状認識
○ 県域を越えた行政課題の増加
・住民や企業の活動圏域の拡大
・自動車産業や半導体産業など県域を越えた産業の集積
・県域を越えた社会インフラの整備 等
○ グローバル化の進展
・政治、経済等あらゆる分野で「Local to Local」の時代
・地域の豊かな個性と資源、そのネットワークにより国が支えられる時代へ
・スピーディな意思決定により、地域社会が独自に近隣アジアをはじめ世界と結びつく状況
○ 地域住民の自治の拡大への期待
・権限や財源を国から地方へ移譲し、地方のことは地方で
・身近なことは自分たちで決定し、参加と責任を負いながら地域づくりを進めることへの期待

■各界議論の状況
○ 道州制ビジョン懇談会「中間報告」(H20. 3)
○ 地方分権改革推進委員会「第1次勧告」(H20. 5)
○ 九州地域戦略会議 第2次道州制検討委員会「道州制の九州モデル答申」(H20. 10)
○ 日本経団連道州制推進委員会「道州制の導入に向けた第2次提言」(H20. 3)
○ 自民党道州制推進本部「道州制に関する第3次中間報告」(H20. 7)
○ 全国知事会 道州制特別委員会「検討状況報告」(H19. 12)
○ 第28次地方制度調査会「道州制のあり方に関する答申」(H18. 2) など

■大分県道州制研究会
道州制導入ありきではなく、県民視点から、道州制のメリット・デメリット、大分県としての発展可能性、九州全体としてのビジョンがどう描けるか等について、調査研究
◆道州制に関する最近の動きを適宜紹介(各界議論の状況を情報提供)
◆分野別に議論
☆福祉・保健・環境 ☆教育・科学・文化・人材 ☆経済・労働・国際
☆交通・社会資本整備
◆講演:九州地域戦略会議第2次道州制検討委員会 芦塚副委員長、新貝中津市長

■県政モニターアンケート

〈参考資料〉
・研究会で実施した講演内容の概要
・研究会で紹介した情報、データ
・アンケート結果 など